

《どさんこのソナエ企画》

新型コロナウイルスの正しい予防の知識、札幌ハートセンターの環境整備について発信

新型コロナウイルス感染拡大の中でも、「救える命を救えない状況を作るわけにはいかない」という、医療法人札幌ハートセンター・藤田勉理事長の言葉をきっかけに、同法人の、高度な感染防止策で循環器医療を継続している姿勢と、医療体制の維持(医療崩壊防止)の取り組み・「ソナエ」を伝える紙面企画を提案。「どさんこのソナエ」という感染予防のカットとともに、子どもからお年寄りまで分かりやすい紙面にしました。

この「どさんこのソナエ」企画は、2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震をきっかけに、「いつかくる『次』に知識で備える」を趣旨に、新聞紙面を通じた災害対策の機運醸成のために、立ち上がった企画です。今回、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて「備える」領域を広げ、

ウイルスへの予防対策紙面を制作。予防に大切な取り組みをイラストを交え分かりやすくレイアウトしたほか、版を切り替えて、北海道内各地の保健所の連絡先も掲載しました。

紙面掲載後の反響は大きく、
・北海道内各地の小中学校から「保健だよりへ紙面を掲載したい」「ホームルームで紙面を使用した感染予防指導をしたい」とお問い合わせをいただき、活用いただきました。

・読者モニターへの調査(J-MONITOR調査)でも、「各説明文に絵がついていて大変理解しやすい(男性60代)」「イラストなども分かりやすく、とても参考になりました。切り取って、予防に備えようと思います(40代女性)」と好評の声を多くいただきました。

・新型コロナウイルス対策の一環としてオンライン相談が緩和されたこともあり、札幌ハートセンターの受電件数は、広告掲載前に比べてかなり増えているとのこと。

札幌ハートセンター様から高い評価をいただき、現在、同企画の第二弾の掲載準備を進めています。

(本社営業局 松山 力蔵、野島 隼人)

正しい予防の知識をそなえよう。

新型コロナウイルスに、今日から備えよう。

どさんこのソナエ vol.6

正しい予防の知識をそなえよう。

新型コロナウイルスに、今日から備えよう。

一人ひとりが正しい知識を身につけて、一人ひとりが正しい行動をすることで、感染拡大を防ぎ、社会全体が安心して暮らすことができるように努めよう。

次回の症状がある人は、「帰国者・接触者相談センター」へ相談を。

札幌市保健所 011-272-7198(4719) / 札幌局 011-622-4367
 札幌南保健所 011-22-3110 / 札幌南局 011-263-2111 / 札幌東保健所 011-23-3175
 札幌北保健所 011-23-3176 / 札幌北局 011-42-5137 / 札幌西保健所 011-20-0100
 札幌南西保健所 011-24-4301 / 札幌南西局 011-24-4943 / 札幌東西保健所 011-24-4948
 ◎高齢者や基礎疾患のある方は、上記のほか2日経過後も場合

企画制作: 北海道新聞社営業局 / 企画・編集: ソナエ・プロジェクト
 〒060-0801 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号 北海道新聞社営業局2階

私たちは心臓の治療を続けています。

循環器医療を提供し続けるための環境整備

- 院内のゾーニング
- 職員の防護具装着徹底
- スペシャルチームへの対応
- 外来患者の検温(検温結果が陽性判定された患者は外来受付を中止)
- 見物のある職員の出勤停止

心にもいつも、オレンジのハート。

〈動悸、息切れ、胸の痛みの診断・治療〉
 当院の医師が24時間対応

フリーダイヤル 0120-873-810

医療法人 札幌ハートセンター

(2020年3月27日 朝刊 全道版 全15段)

POINT!

* 北海道民に必要な「ソナエ」の知識・情報とともに、メッセージなどを広く発信することが可能です。

◆お問い合わせ／北海道新聞社営業局 (TEL011-210-5713) または 各支社営業部へ (2020.5)
 * ウェブサイトにバックナンバー掲載中! 【道新 営業局】で検索! (https://adv.hokkaido-np.co.jp/)